

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から「5類感染症」になり、対面の学会や情報交換会が再開した。海外の学会にも参加できるようになった。コロナ禍の副産物の一つは、学会や講演会のネット配信である。ネット配信は、移動が不要で、人気の講演も並ぶ必要がなく、仕事の合間でも参加できるメリットがある。今後も、対面とネット配信を併用するハイブリッド開催が生き残っていくものと思われる。

今回の特集は、「生活習慣が関連する皮膚疾患」である。これまで特定の疾患群を集めて特集を組んでいたのが、『皮膚科の臨床』としては一つの試みである。生活習慣病 (life-style related diseases) とは、食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群と定義されている。生活習慣を改善することにより疾病の発症・進行を予防できることがポイントとなる。生活習慣病としては、インスリン非依存型糖尿病、肥満、脂質異常症、高尿酸血症などがあるが、それらに続発する皮膚疾患もたくさんある。糖尿病に続発する疾患として、環状肉芽腫や浮腫性硬化症、デューピュイトラン拘縮などのほか、糖尿病性水疱、糖尿病性壊疽のような血流不全があげられる。脂質異常症には黄色腫、高尿酸血症には痛風結節がある。皮膚疾患からみると、乾癬では肥満や脂質異常症、高尿酸血症などの生活習慣病を合併することが多く、動脈硬化に伴う心血管イベントが多いことが知られているが、その関連性が脂肪細胞からのサイトカインによって説明されるようになってきている。

一方で、健康志向が強すぎて、極端な食事制限を行ったり、特定の食物を過剰に摂取したりすることによる皮膚疾患もある。肥満予防を目的とした糖質制限ダイエット・炭水化物ダイエットで生じた色素性痒疹が本誌にも報告されている。緑黄色野菜の摂取が健康に良いと信じるあまり、ニンジンジュースや野菜ジュースを連日大量に摂取していた柑皮症 (βカロテン沈着症) の症例を最近、経験した。これらも生活習慣が関係する皮膚疾患である。新型コロナウイルス感染症対策のためのマスクによる痤疮なども生活習慣によって生じる疾患といえるだろう。

コロナ禍で、生活習慣は大きく変化した。オンライン授業やリモートワークにより満員電車での通学や出勤がなくなり、病院に通院しやすくなったという患者もいる。ポストコロナが進んで、良い意味での生活習慣の変化が残ることが望まれる。

(林 伸和)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第65巻 第11号 10月号

2023年10月1日発行 (毎月1回1日発行)

定価 3,190 円 (本体 2,900 円 + 税 10%)

年間購読料金

定価 48,950 円 (本体 44,500 円 + 税 10%)

[年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165 [編集室直通]

TEL 03(3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。